ＢＩＭ人材

役割・スキルを体系化

ウィルオブ・コンスト 採用ミスマッチ防止

建設業界に特化した人材サービス事業を展開するウィルオブ・コンストラクション（東京都新宿区、田中謙社長）は、ＢＩＭ人材の評価基準を整理した。「ＢＩＭスキルマトリクス」として、企業がＢＩＭ人材に求めるスキル・知識を現場単位で可視化。ＢＩＭ人材採用に伴うミスマッチを防ぎ、採用した社員のスキルアップ支援にもつなげる。

マトリクスは大和ハウス工業、ＢＩＭ関連のシステム開発を手がけるＰＬＵＳ・１（東京都千代田区、高木英一社長）と共同作成した。必要な人材像などを客観的に伝えられるよう、ＢＩＭ人材に求める役割・スキルレベルを体系化。採用時のスキル判断などをサポートし、企業との適切なマッチングを強化する。

ＢＩＭを単純に操作する能力と、実際の業務遂行に求められるスキルは異なるという考えに基づき条件を整理した。建築知識・施工知識、図面作成、情報セキュリティー管理といった項目を設定。項目ごとに3段階のレベルを定義し、各分野の習熟度などを可視化する。技術者のＢＩＭスキルを客観的に評価できる仕組みを整え、適正な評価も実現していく。

マトリクス作成では大和ハウス工業が設計・施工計画の実務観点でフィードバックを実施。ＰＬＵＳ・１の持つＢＩＭ分野に特化したコンサルティングの知見も積極的に取り入れた。